



小島 海月

こじま みつき

千葉県立市川工業高等学校 建築科

黄金比の図書館

「黄金比」というものをご存知でしょうか？「黄金比」とは、「 $1:1+\sqrt{5}/2$ 」、近似値 $1:1.618$ 、約 $5:8$ の比をいいます。この比は、「最も美しい比」、「神の比」と言われています。

そこで私は黄金比を元に設計しました。1階あたりの高さを5m、柱のスパンを8mにしました。また、縦横を32m、56mにして比を近づけました。

ほかにも、上から見ると「黄金長方形」という、黄金比を応用した、相似な図形になるようにしました。

黄金比を利用して建物を構成していく、高校生の設計課題としては実によいスタディにも感じました。デザインの基本構成とも言える構図で、最も美しいと言われる比率を感覚的に利用できることになること。これはとても大切で、この感覚を身に着けておくと、今後のデザインワークに大きな影響を与えてくれると思います。本人もスタディしていく中で、古代のパルテノン神殿やサグラダファミリアも、そのひとつであると例を挙げていましたが、現代でも建物のみならず、広告やロゴデザインなど、さまざまな分野で利用されています。彼の案では黄金比 $1:1.618$ で建物を構成構成していくこと。縦、横、高さ、においてその比率で構成し、部屋もそのグリッドの

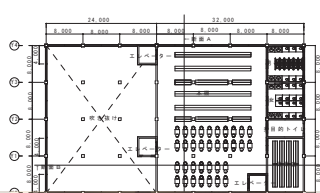
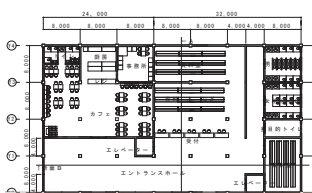
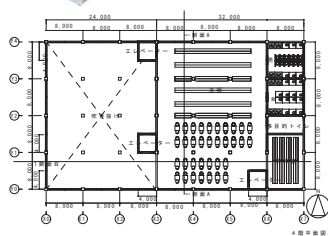
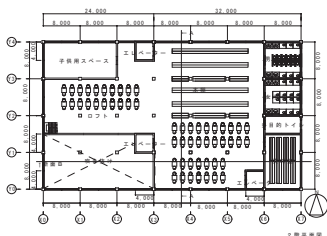
中に収めていた物です。平面図や立面図を改めてみると整然としたその間取りや構成は、非常にシンプルで興味深い図面に見えてきます。かなり割り切った考え方をしないと、こうしたシンプルでありながらダイナミックな構成はできないと思いますが、上手にまとめたと思います。もう一押し検討してもらいたかったことは、出来上がったから全体を見つめなおして、自分が一番何をしたかったのか、きれいな比率のモノリシックなBOXをどう見せたかったのか。見る人の視点を取り入れてみると、よりコンセプトチャルな設計になったのではと感じています。



審査員：磯野 智由



～黄金比の図書館～



コンセプト

皆さんは、「黄金比」というものをご存知でしょうか？
「黄金比」とは、「 $1:1+\sqrt{5}/2$ 」、近似値1: 1.618、
約5: 8の比をいいます。

黄金比の起源は紀元前・古代ギリシャから存在します。
この比は、「最も美しい比」、「神の比」と言われており、
パルテノン神殿やサグラダ・ファミリアにも使われてい
われています。

そこで私は黄金比を元に設計しました。例えば、1階あ
たりの高さを5m、柱のスパンを8mにしました。

また、縦横を32m、56mにして比を近づけました。

ほかに、上から見ると「黄金長方形」という、黄金比
を応用した、相似な図形になるようにしました。

